

プレスリリース

報道関係者各位

2026年2月20日

auエネルギー&ライフ株式会社

株式会社REDER

auエネルギー&ライフとREDER 脱炭素社会の実現に向けた新たな付加価値 創出のための共同検討を開始

auエネルギー&ライフ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：齋藤 茂、以下：auエネルギー&ライフ）と、株式会社REDER（本社：沖縄県浦添市、代表取締役社長：比嘉 直人、以下：REDER）は、脱炭素社会の実現および地域レジリエンスの向上を目指した共同事業検討に関する基本合意書を締結いたしました。

1. 検討の背景と目的

2050年のカーボンニュートラル実現、および近年のエネルギー価格高騰や災害対策への意識の高まりを受け、家庭における分散型電源（太陽光・蓄電池）の重要性が高まっています。本検討では、auエネルギー&ライフが展開するPPA事業「じたく発電所サービス」の知見に、REDERが沖縄での事業で培った事業運用ノウハウや独自技術を掛け合わせ、次世代型蓄電池サービスのあり方を共同で検討してまいります。これにより、経済性とレジリエンス（防災力）を兼ね備えた、新たなエネルギーライフスタイルの創出を目指します。

2. 両社の強みが創出するシナジー

両社は、以下の強みを活かしたスキーム構築に向けた協議を進めます。

【auエネルギー&ライフの強み】

① 小売電気事業者としての「豊富な顧客基盤」

「auでんき」等の提供を通じて築いた強固な顧客基盤を背景に、新たなサービスの提供を検討し、脱炭素・レジリエンスの輪を全国へ広げます。

② 「じたく発電所サービス」の先行実績

これまでのPPA事業運営で得た現場ノウハウや顧客ニーズを基盤に、よりユーザーにとって導入しやすいサービス設計を主導します。

【REDERの強み】

③ 沖縄でのPPA事業における高度な事業知見

株式会社NEXTEMSと共に培った沖縄での過酷な環境下におけるPPA事業ノウハウを提供します。機器の選定から施工・メンテナンスに至るまで、日本全国あらゆる環境下での長期運用を可能にする、堅牢なサービスモデルの構築を検討します。

④ エリアアグリゲーションの豊富な実績

地域単位で電力を制御する「エリアアグリゲーション（群制御）」の実績を用い、地域全体のエネルギー需給を最適化する次世代のエネルギーマネジメント手法を検討します。

3. 今後の展望

両社は、本合意に基づき、新たなエネルギーサービスの仕様策定および事業化に向けた協議を行い、2026年度中の具体的なサービスローンチを目指します。テクノロジーによるエネルギーの地産地消とレジリエンス強化を通じ、持続可能な社会の実現に貢献するサービスの実現を目指してまいります。

以上